

# ASNOVA

2024年3月期 第2四半期 決算説明資料

証券コード：9223

2023年11月14日

## 主要トピックス

過去最高

### 第2四半期累計 売上高

旺盛な足場レンタル需要のもと、  
売上高は第2四半期累計で  
1,708百万円と過去最高となりました。

### 足場への 投資予定額を引き上げ

市場ニーズの高まりに対応するため、  
年間の足場投資額予定額を18億円から  
過去最高額の24.5億円へと  
引き上げを行いました。

### 2024年3月期第2四半期（累計） 営業利益や純利益などの 業績予想を上回る

売上原価が予想を下回り第2四半期の営業利益を44百万⇒81百万、  
経常利益を38百万⇒80百万、純利益を△6百万⇒41百万に修正しました。

### 新規顧客数 186社増 過去最高を更新

第2四半期累計での新規顧客数は186社となり、  
過去最高を更新しました。

# 目次

---

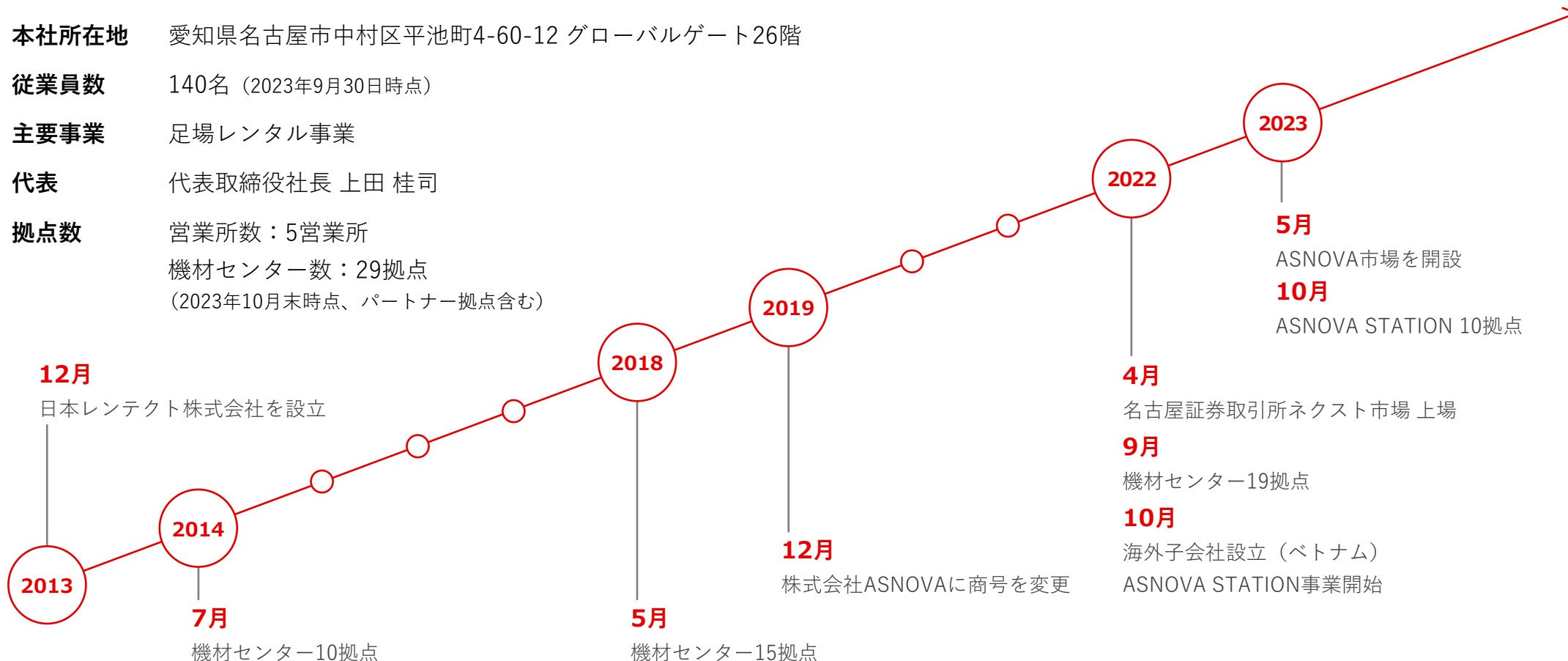
- 01** ASNOVAとは > 4
- 02** 2024年3月期 第2四半期 業績（累計） > 12
- 03** その他の重要指標とサービスの状況 > 19
- 04** 2024年3月期 通期業績の見通し > 24

01

ASNOVAとは

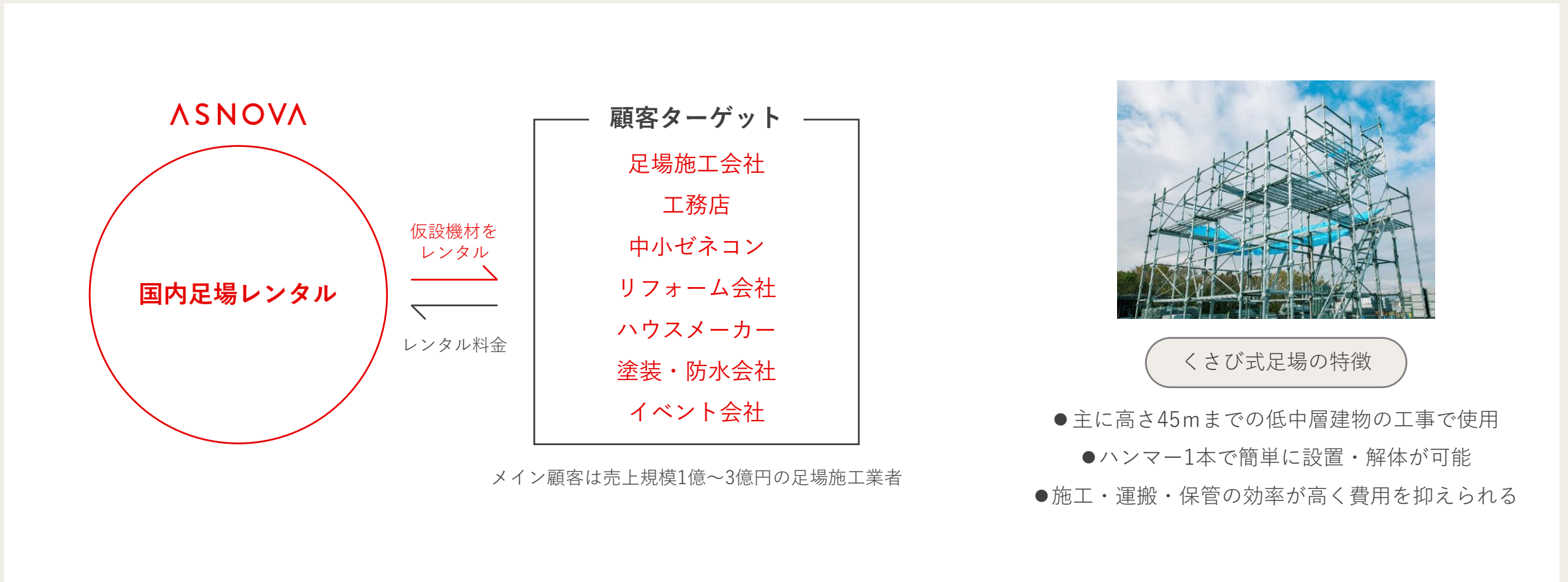
# 会社概要

**会社名** 株式会社ASNOVA (ASNOVA Co., Ltd.)  
**本社所在地** 愛知県名古屋市中村区平池町4-60-12 グローバルゲート26階  
**従業員数** 140名 (2023年9月30日時点)  
**主要事業** 足場レンタル事業  
**代表** 代表取締役社長 上田 桂司  
**拠点数** 営業所数：5営業所  
機材センター数：29拠点  
(2023年10月末時点、パートナー拠点含む)



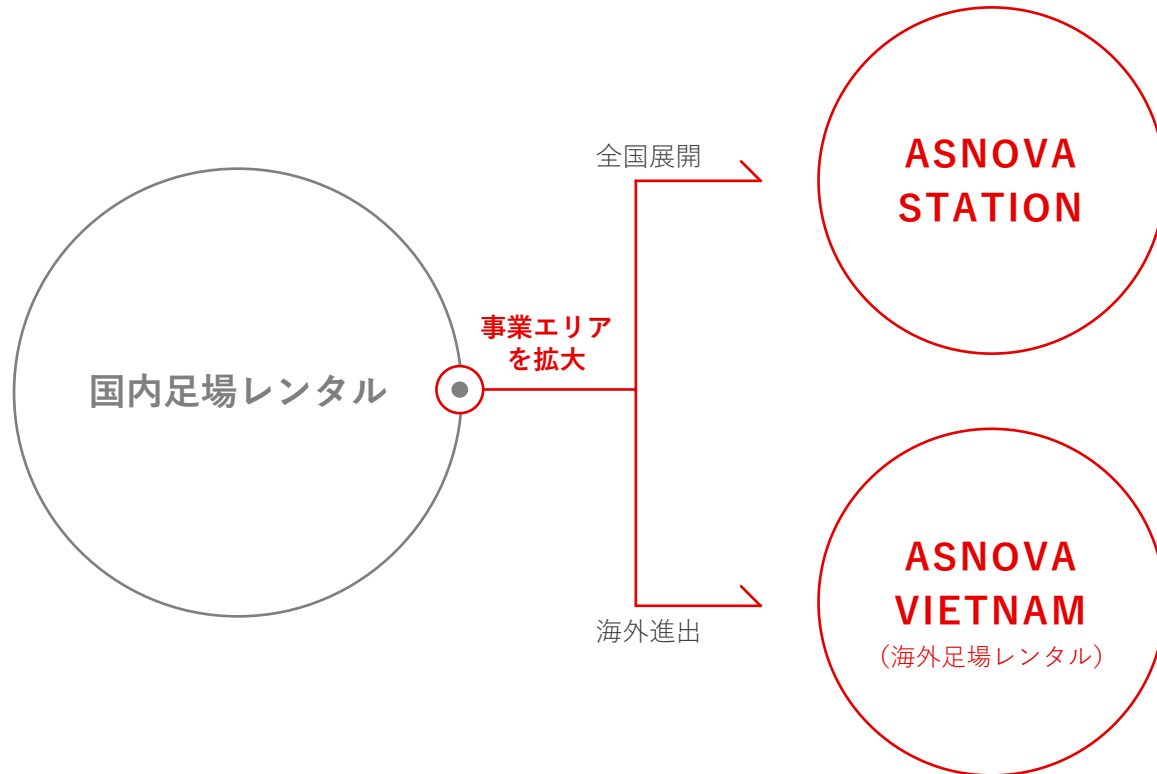
# ASNOVAの主要事業：足場レンタル

- 低中層の建物や住宅に使用される「くさび式足場」を中心に、足場施工業者などへ仮設機材をレンタル。
- 多くのお客様と取引することでリスクを分散。



## 足場レンタルを“広げる”2つの事業

- 全国各地において安心して足場を提供できるよう、パートナー企業を通じた全国展開を推進。
- 足場レンタルをグローバル展開していく第一歩としてベトナムへ進出。2022年10月、現地に子会社を設立。



足場の需要が年々高まっている中で、パートナー企業に足場機材やノウハウを提供することで供給が間に合っていない地域においても足場を届けられる仕組みを確立。

－ 2022年10月 事業ローンチ

アジアを起点とした海外展開を見据え、建設ラッシュで沸くベトナムに進出。品質・安全性の高い足場（日本での経年材）と日本で培ったノウハウを活用したレンタル事業を展開。

－ 2022年10月 海外子会社設立（ベトナム）

# ASNOVA STATION

- 当社の直営拠点だけではレンタルサービスが行き届かないエリアにおいて、パートナー企業と連携したレンタル事業を展開。
- ASNOVAからパートナー企業に対して足場機材や商標・ノウハウを提供し、パートナー企業はエンドユーザーへ足場機材をレンタル。



2022年10月 事業をローンチ

全国各地においても  
「いつでも、近くで、安心して借りられる」を実現



足場機材  
商標・ノウハウ  
↓  
レンタル料金  
支援サポート料金



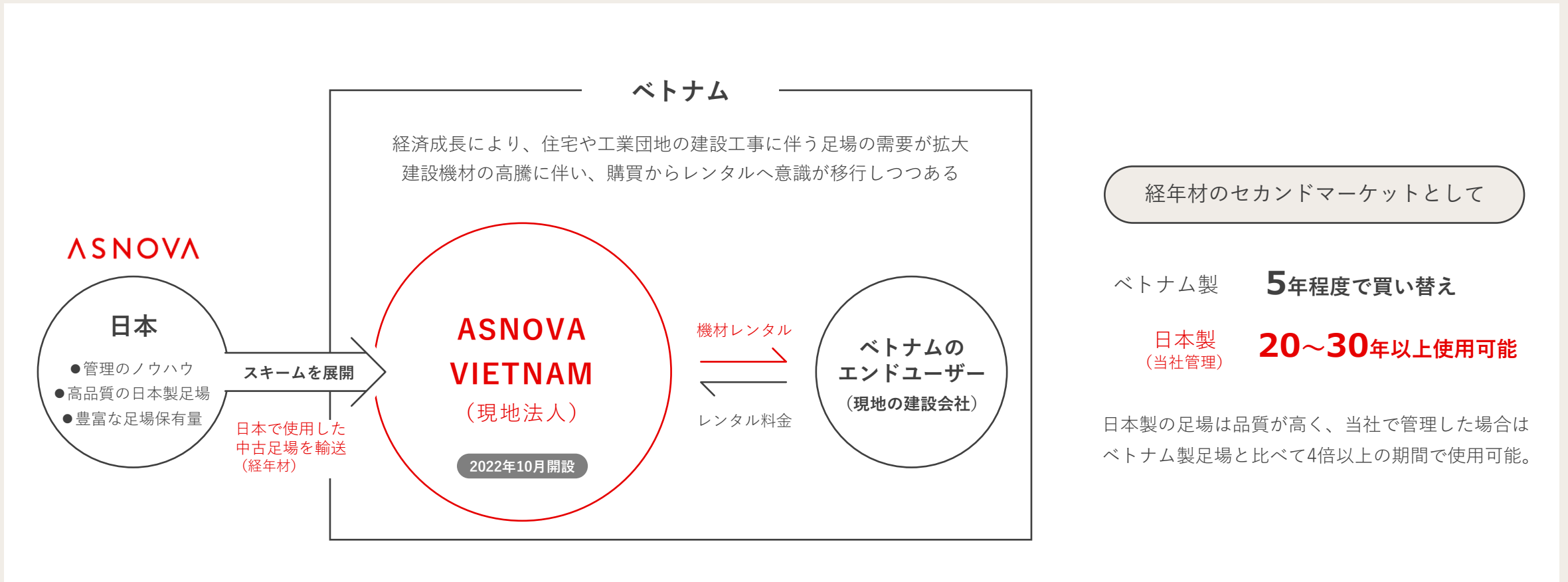
機材レンタル  
↓  
レンタル料金





# ASNOVA VIETNAM

- 日本での足場レンタル事業で培ったノウハウを生かし、中長期的に経済成長が続き建設ラッシュに沸くベトナムへ進出。



## 3つの優位性

- レンタル会社の選定には在庫量、拠点の近さ、機材の品質が重要である傾向をお客様の声から把握。
- 同業他社と比較してトップクラスの足場保有量・拠点数・顧客数を有し、「いつでも」「近くで」「安心して」借りられる体制を実現。

いつでも

豊富な在庫量

**137**億円の

足場を保有

[算出方法]  
直近5年の平均仕入単価×保有量

近くで

拠点数の多さ

全国各地に

**29**拠点

直営機材センター：19拠点

パートナー拠点：10拠点

安心して

品質と対応力

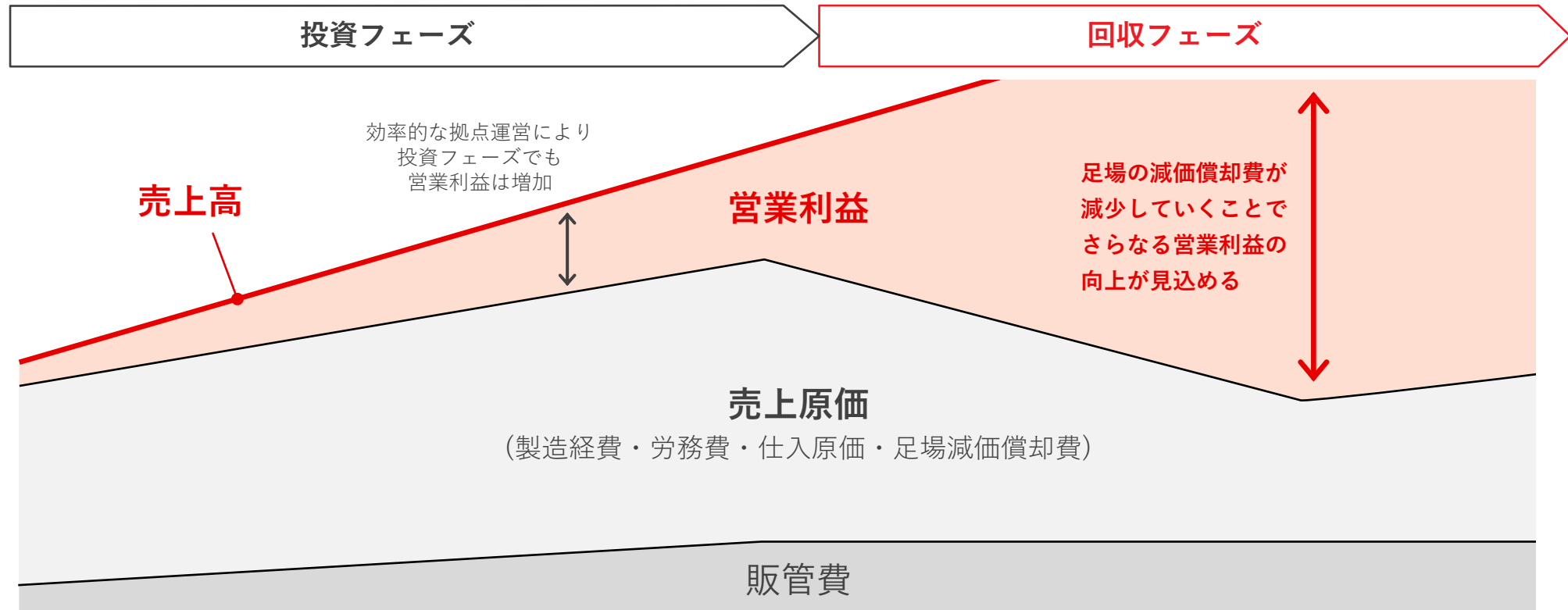
顧客数は

**2,600**社超

提供する足場の品質と  
お客様への対応力により  
安心して借りられる

## 収益構造のイメージ

- 当面は「投資フェーズ」と位置づけ、足場保有量を増やすために積極的な投資を継続。
- 投資フェーズで売上原価の過半を占めている足場の減価償却費が「回収フェーズ」にて大幅に減少。



# 02

2024年3月期 第2四半期業績（累計）

## 業績ハイライト

- 第2四半期累計売上高は過去最高。
- 繁忙期となる第3四半期も足場機材の高稼働を見込む。

### 売上高

**1,708**百万円

前年同期比 + 245百万円

### 売上総利益

**479**百万円

前年同期比 + 147百万円

### 営業利益

**81**百万円

前年同期比 + 90百万円

### 足場保有額

**137**億円

[算出方法] 直近5年の平均仕入単価×保有量

### 顧客数

**2,696**社

前年同期比 + 309社

### EBITDA

**775**百万円

前年同期比 + 231百万円

## 損益計算書（前年同期比）

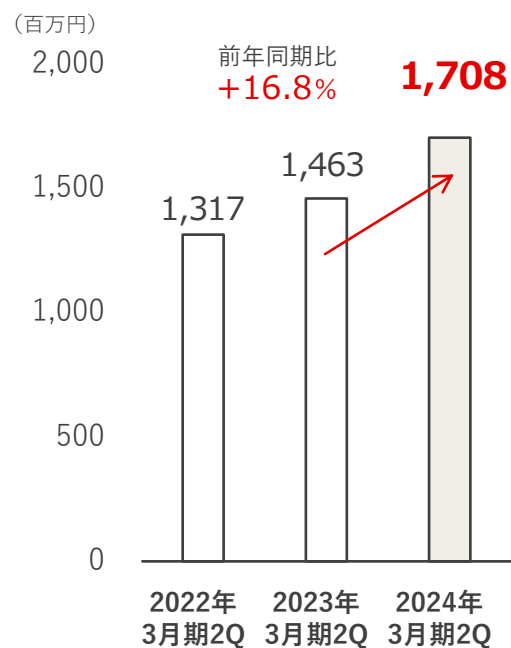
- 旺盛なレンタル需要や売上原価が予測値を下回ったことから、営業利益・経常利益・当期純利益が業績予想を上回る。
- 下期は広告宣伝費を増やし、新規顧客増加を加速させる。そのため通期予算は据え置きとする。

(単位：百万円)	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期		増減額	前年同期比
		(連結)	内、国内事業		
売上高	1,463	1,708	1,708	+245	+16.8%
売上総利益	332	479	493	+147	+44.3%
営業利益	▲9	81	124	+90	-
経常利益	1	80	134	+78	+4187.2%
当期純利益	▲6	41	90	+47	-
売上高営業利益率	-	4.8%	7.3%	-	-
EBITDA	543	775	-	+231	+42.6%

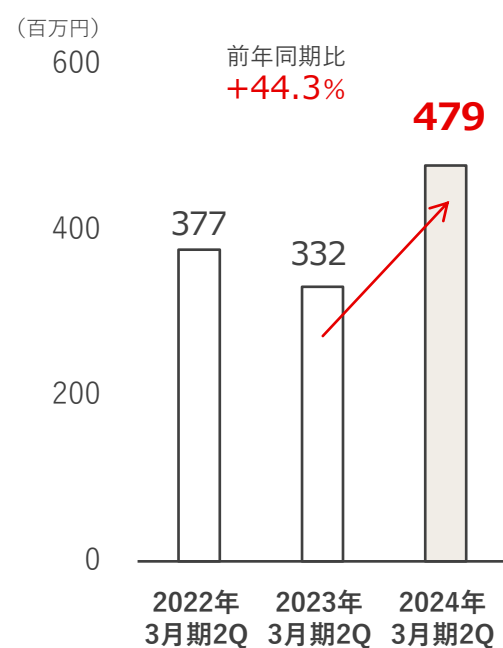
## 第2四半期累計業績推移

- 積極的な足場投資による既存事業強化と新規顧客増加により、第2四半期累計数値はいずれも堅調に推移。

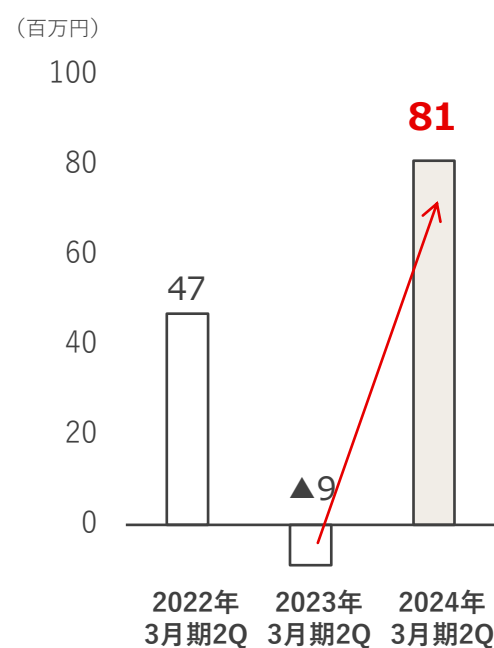
売上高（累計）



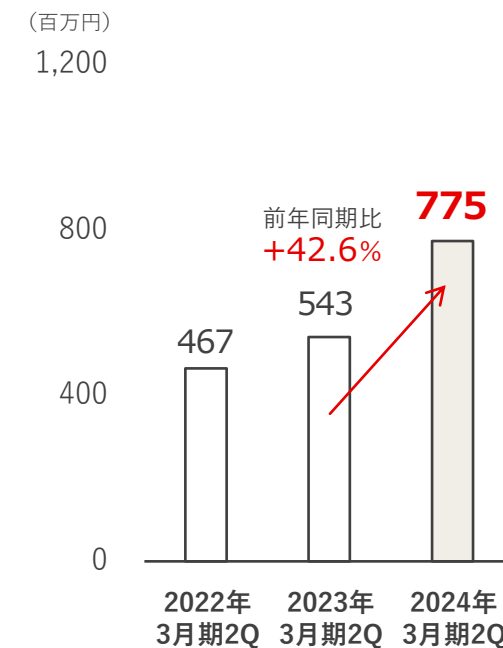
売上総利益（累計）



営業利益（累計）



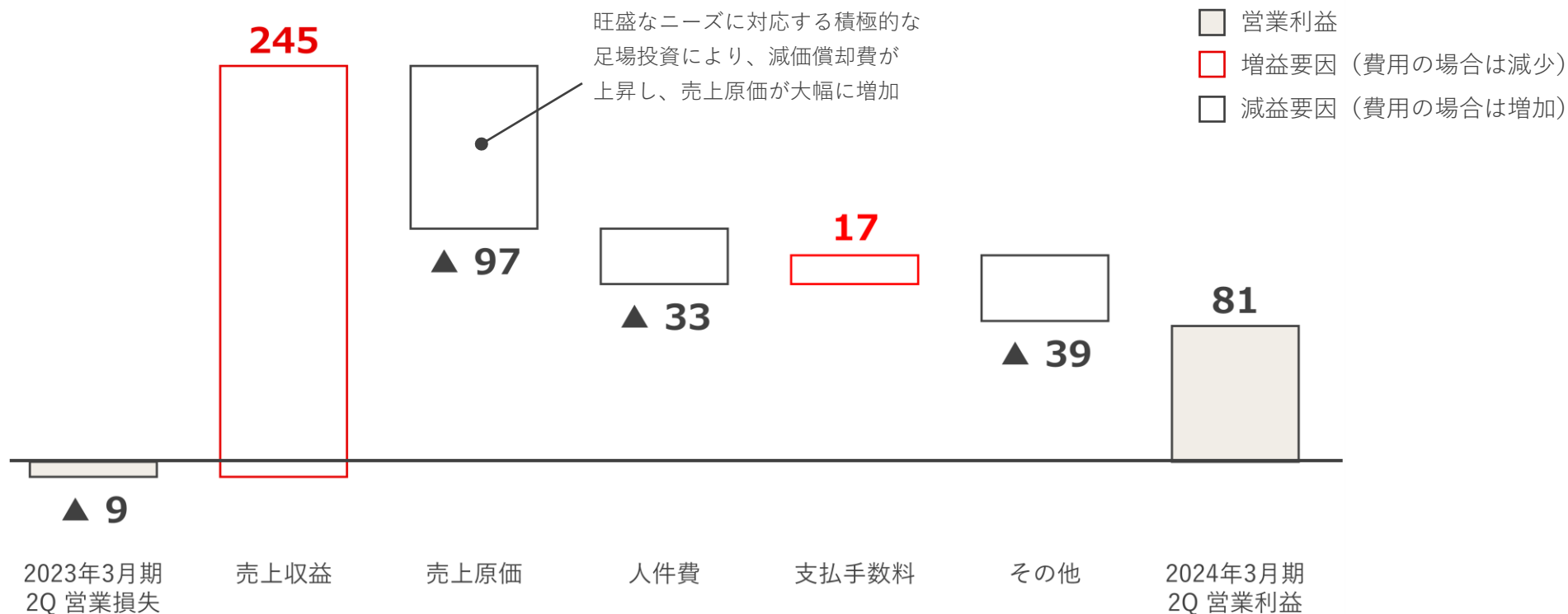
EBITDA（累計）



## 営業損益増減要因分析

- 足場投資による投資フェーズがこれからも続くため、減価償却費は増加していく。
- しかし原価を上回る売上収益をあげることが出来るため、営業利益は増加する。

（単位：百万円）





## 貸借対照表

- 旺盛なニーズに伴う積極的な足場投資により、固定資産が増加。
- バランスシートを確認しつつ、引き続き積極的な足場投資を行う。

(単位：百万円)	2023年3月期 第2四半期末	2023年3月期 期末	2024年3月期 第2四半期末	前期末比 増減
流動資産	1,082	1,448	<b>2,620</b>	+1,171
現金及び預金	326	679	<b>1,662</b>	+982
固定資産	6,239	5,840	<b>7,249</b>	+1,409
資産合計	7,322	7,289	<b>9,870</b>	+2,581
流動負債	2,425	2,142	<b>3,301</b>	+1,158
固定負債	2,236	2,356	<b>3,739</b>	+1,383
純資産	2,659	2,789	<b>2,828</b>	+38
負債・純資産合計	7,322	7,289	<b>9,870</b>	+2,581
自己資本比率	36.3%	38.3%	<b>28.7%</b>	▲9.6%

## 損益計算書（四半期毎の推移）

- 第2四半期（7～9月）は四半期ベースで過去最高の売上高。
- 売上・利益共に四半期ベースでも非常に好調であり、大きく利益が出る第3四半期に臨む。

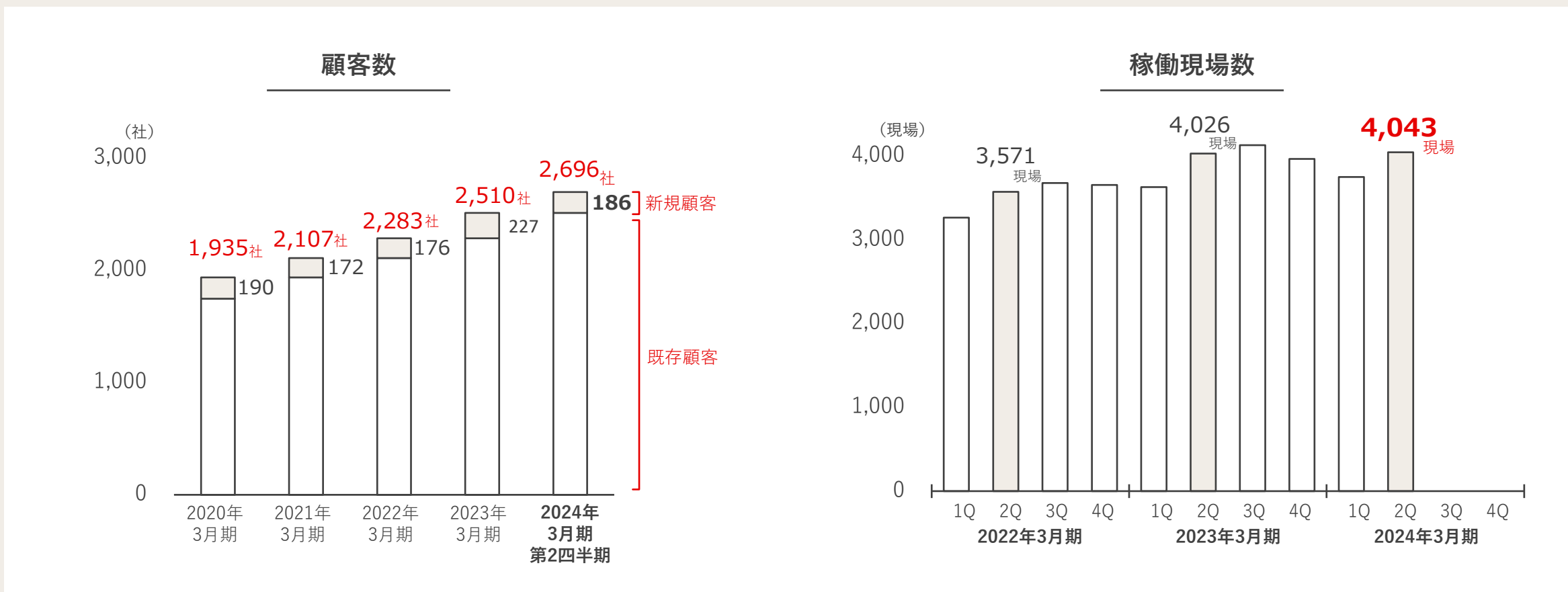
(単位：百万円)	2022年3月期				2023年3月期				2024年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	YoY 増減額	YoY 増減率
売上高	635	682	746	615	673	789	894	782	792	<b>916</b>	+126	+16.0%
売上総利益	148	229	273	158	148	183	276	197	208	<b>271</b>	+87	+47.6%
売上総利益率 (%)	23.4%	33.6%	36.7%	25.8%	22.1%	23.3%	30.9%	25.2%	26.3%	<b>29.6%</b>	-	+6.3pt
営業利益	16	30	124	▲5	▲21	11	146	50	▲0	<b>81</b>	+69	+588.0%
営業利益率 (%)	2.7%	4.5%	16.7%	▲0.9%	▲3.1%	1.5%	16.4%	6.4%	▲0.0%	<b>8.9%</b>	-	+7.4pt
経常利益	32	41	166	47	▲15	17	145	65	▲0	<b>80</b>	+63	+363.5%
当期純利益	19	26	131	26	▲12	6	97	52	▲6	<b>48</b>	+42	+697.9%

# 03

## その他の重要指標とサービスの状況

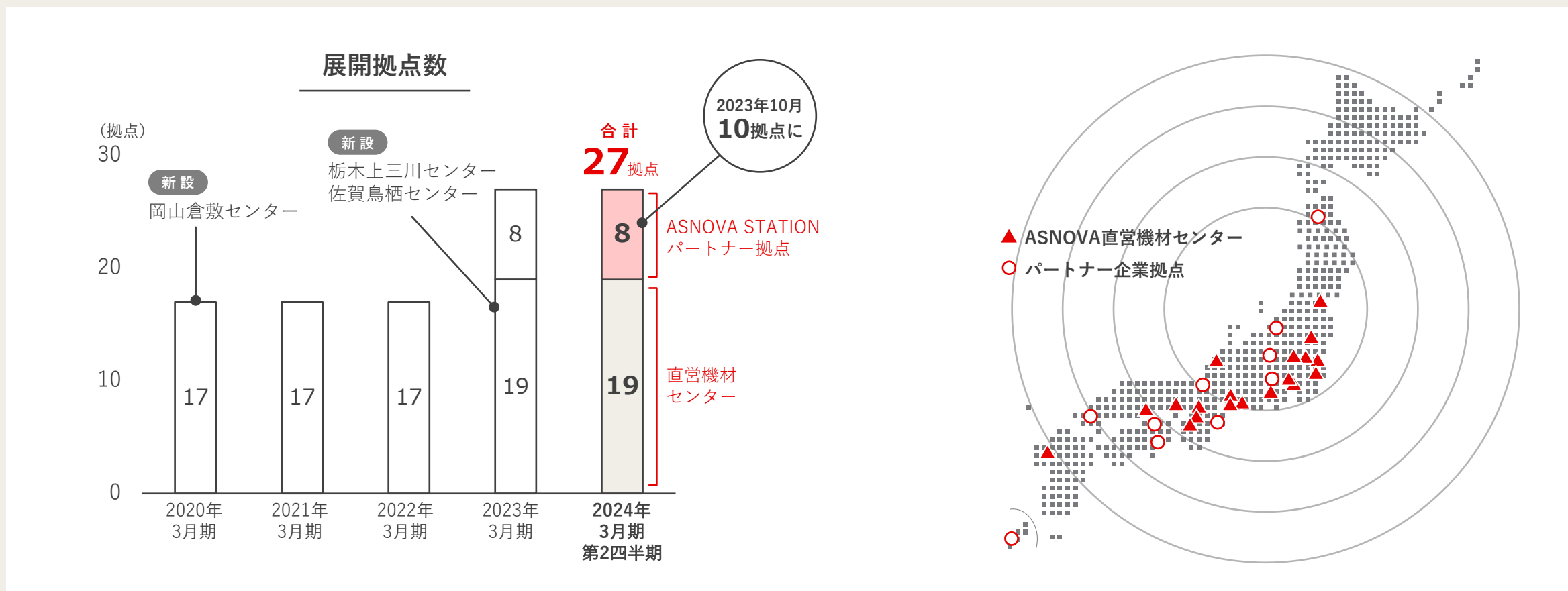
## 顧客数と現場数の推移

- 積極的な足場投資やマーケティング活動により、第2四半期累計での新規顧客獲得数が過去最高値に。
- 足場保有額増加により対応可能現場数が増加。第2四半期末時点でも稼働現場数が過去最高値に。



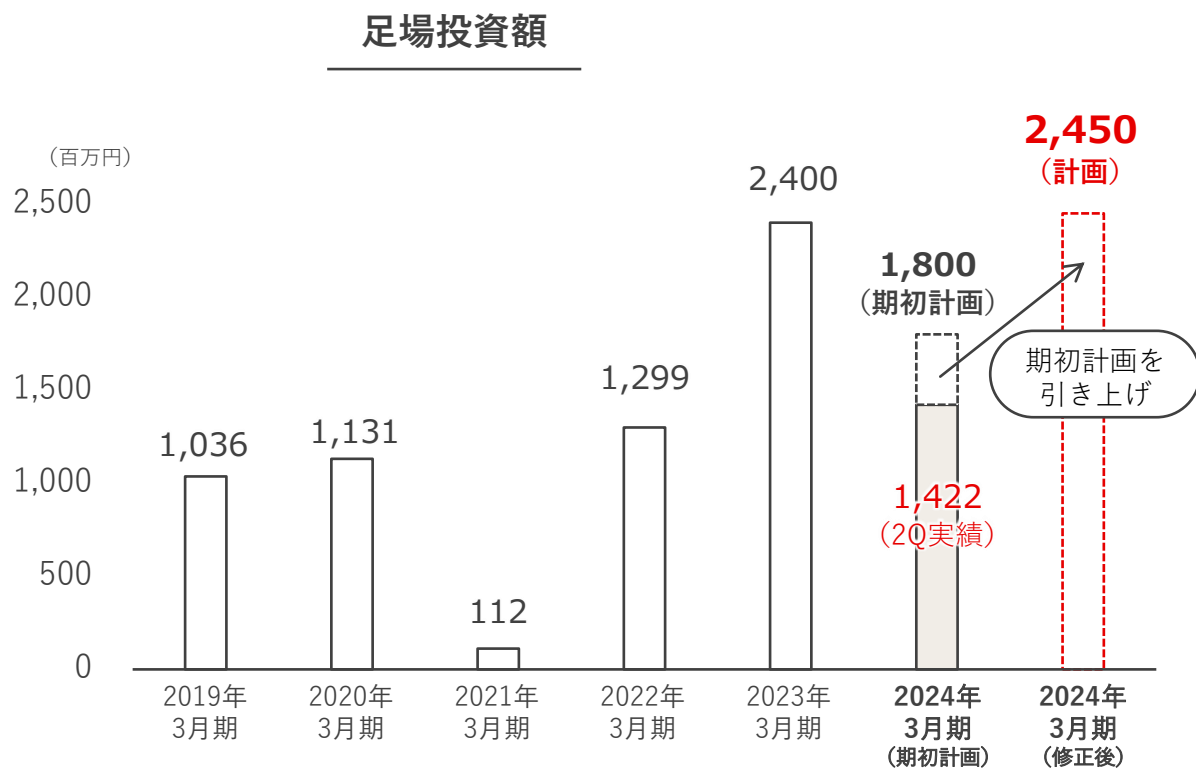
## 拠点数の推移

- 直営機材センター及びパートナー拠点の拡大で全国へ足場レンタルを拡大する。
- 期末には直営機材センターとパートナー拠点で合計36拠点（直営機材センター21拠点＋パートナー拠点15拠点）体制へ。



## 足場投資額の推移

- 旺盛なニーズに対応するべく、今期の年間足場投資計画を18億円から24.5億円へ引き上げ。
- 減価償却費の増加が想定されるものの、通期予算は据え置きとする。



## 仮設機材総合サイト「ASNOVA市場」

- 一般の方でも仮設機材の買取と販売をネット上で決済できるECサイト「ASNOVA市場<sup>いちば</sup>」。
- SEO対策、既存のお客様へのアプローチで利用者は堅調に推移。

### ASNOVA 市場

「日本一の仮設機材の総合サイト」を目指して

2023年5月 サービス開始



URL

<https://asnovaichiba.com/>

#### サービス開始後の実績

買い取り量

138トン

※第2四半期末時点

中古の仮設機材は非常に人気があり、ASNOVA市場の利用者は堅調に推移しております。仮設機材を必要な人、場所へ安価で販売し、循環型社会へ貢献していきます。

# 04

## 2024年3月期 通期業績の見通し



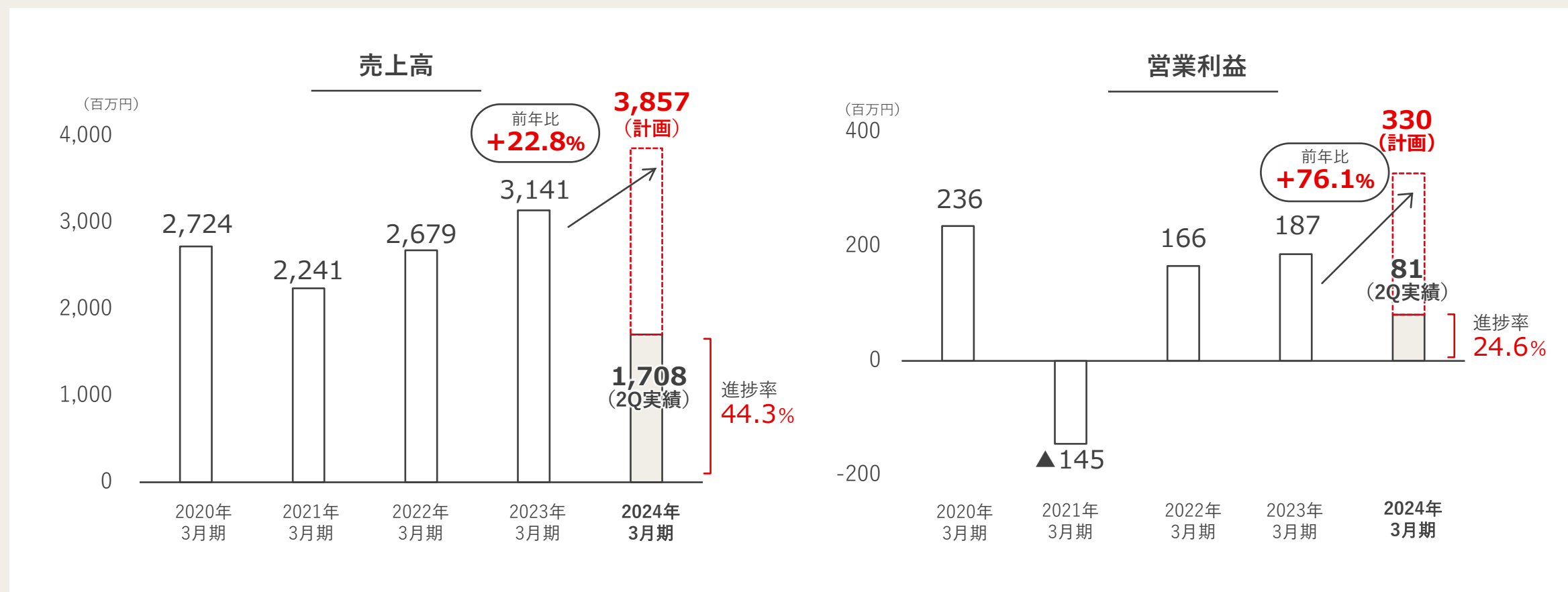
## 2024年3月期の業績予想

- 旺盛なニーズと新規事業の貢献を背景に、今期は過去最高の売上高、利益となる見込み。
- 第2四半期累計では営業利益・経常利益・当期純利益が業績予想を上回ったが、通期予想は据え置く。

(単位：百万円)	2023年3月期実績 (連結)	2024年3月期予想		増減額	前年同期比
		(連結)	内、国内事業		
売上高	3,141	3,857	3,826	716	+22.8%
売上総利益	805	1,074	1,123	268	+33.4%
営業利益	187	330	452	143	+76.1%
経常利益	212	310	444	97	+45.6%
当期純利益	144	182	314	38	+26.7%
売上高営業利益率	6.0%	8.6%	11.8%	+2.6pt	—
EBITDA	1,400	1,789	-	+388	27.8%

## 売上高と営業利益の推移予想

- 今期業績予想に向け、着実に伸長。
- 繁忙期となる第3四半期に向け、取りこぼしが無いよう売上の最大化を目指す。



# 「足場といえば、ASNOVA」を目指して。

循環型社会の実現を目指していく過程で、  
足場レンタルの普及や業界の活性化、人材不足の解決を目指し、  
「足場」というフィールドにおいて  
リーディング・カンパニーとしての地位確立に挑戦していきます。